

# ナシヒメシクイは9月下旬頃までナシ果実に食入する

福島県農業総合センター果樹研究所 病害虫科

## 1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

## 2 担当者名

吉田昂樹、中村傑、中村淳

## 3 要旨

近年、温暖化等の影響によりモモ・リンゴ・ナシ等を加害するナシヒメシクイは発生世代が拡大し、第4世代成虫の発生が確認されている（佐々木ら）。そこで、2020年及び2021年にナシ果実の被害を経時的に調査したところ、9月下旬頃まで第5世代幼虫の食入が認められたことから9月以降も収穫する品種については9月の防除を検討する必要がある。

- (1) 果樹研究所内において性フェロモントラップを用い、ナシヒメシクイ雄成虫の誘殺数を調査したところ、2020年及び2021年は第4世代成虫の誘殺が確認された（図1）。
- (2) 果樹研究所内のナシ果実を調査したところ、2020年及び2021年は10月上旬頃まで被害果が確認された。なお、10月上旬頃に確認された幼虫は老齢であったため、第5世代幼虫による食入時期は9月下旬頃までと考えられた（図2）。

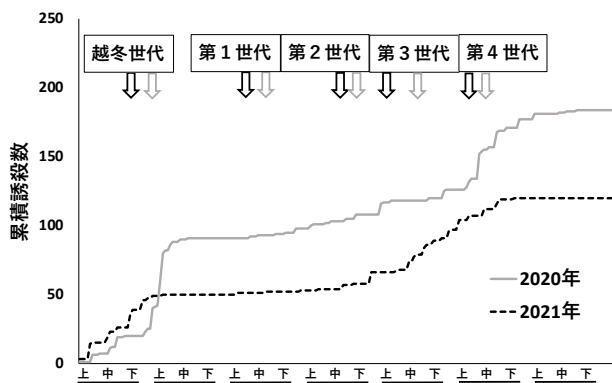


図1 ナシヒメシクイ雄成虫の累積誘殺数

性フェロモントラップ調査場所：果樹研究所  
調査期間：4月1日～10月31日  
矢印は有効積算温量から推定された各世代の発生盛期

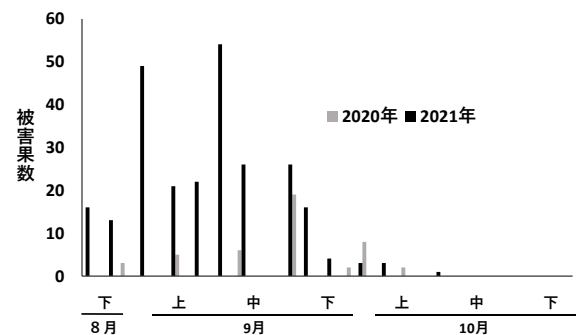


図2 被害果の推移

試験場所：果樹研究所「豊水」無散布ほ場  
調査期間：2020年9月1日～10月28日  
2021年8月27日～10月15日  
各区3樹について全果を調査

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3年度～令和7年度
- (2) 研究課題名 果樹病害虫の防除法改善

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 佐々木ら, 交信かく乱剤処理園に隣接したモモ園におけるフェロモントラップに代わるナシヒメシクイの発生時期の予察手法, 北日本病害虫研報, 65, p.182-184, 2014.